



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikuracomposites.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 秀剛 (TEL) 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,365	△4.5	2,220	2.2	2,456	△12.3	2,244	6.8
2023年3月期第2四半期	20,284	15.0	2,171	△1.2	2,799	12.7	2,101	8.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,024百万円(△7.6%) 2023年3月期第2四半期 3,271百万円(19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	96.94	—
2023年3月期第2四半期	98.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,597	35,900	84.3
2023年3月期	40,374	33,342	82.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 35,900百万円 2023年3月期 33,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	35.00			
2024年3月期(予想)			—	35.00	70.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「2024年3月期剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想の増額修正及びシャフト事業50周年記念配当の実施に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,900	△1.9	4,100	△7.5	4,200	△18.4	3,400	△13.9	146.85

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	23,446,209株	2023年3月期	23,446,209株
2024年3月期2Q	293,836株	2023年3月期	293,790株
2024年3月期2Q	23,152,388株	2023年3月期2Q	21,269,963株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の活発化が進んでおりますが、依然としてロシアによるウクライナ侵攻は終息の兆しが見えず、また中東の新たな火種も加わり、不透明感が増しております。わが国経済においては、インバウンド需要や国内の往來の回復が見られ、サプライチェーンも正常化に向かっておりますが、原材料費、エネルギー費、物価等は依然高止まりしており、引き続き経済活動の足枷となっております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は193億6千5百万円(前年同四半期比4.5%減)、営業利益は22億2千万円(前年同四半期比2.2%増)、経常利益は24億5千6百万円(前年同四半期比12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益に自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金5億3千8百万円を計上したため、22億4千4百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、世界的な流通在庫過多が解消には至っておらず、依然当社への受注回復が遅れていることから減収となりましたが、中国、米国における価格転嫁、固定費削減が進んだことにより増益となりました。

制御機器部門は、液晶・半導体市場は海外向け製品の増産等好材料も見られましたが、引続き低調に推移しました。また、医療市場もコロナ禍により増産した医療機器の流通在庫過多により、減収減益となりました。

この結果、売上高は107億5千3百万円(前年同四半期比7.1%減)、営業利益は1億1千5百万円(前年同四半期比183.3%増)となりました。

<引布加工品>

引布部門は、原材料費やエネルギー費などの価格転嫁が追いついておりませんが、一般ゴム引布の建材用製品や電気・電子分野向けの部材などが好調に推移し、増収増益となりました。印刷材料部門は、事業撤退発表後に国内、海外向け共に受注増加となり、また円安の影響により増収増益となりました。加工品部門は、海外向け舶用品が堅調に推移したことに加え、円安の影響により増収増益となりました。

この結果、売上高は24億8千8百万円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益は6千7百万円(前年同四半期比50.8%増)となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、ゴルフクラブ市場における流通在庫過多の影響によりクラブメーカー向けの販売が減少し、減収減益となりましたが、多くのツアープロに愛用されている『VENTUS』『SPEEDER NX』の主力モデルに加え、7月発売の『TRAVIL Iron』がアフターマーケット市場で好調な販売を継続しており、依然高い利益率を維持しております。アウトドア用品部門は、円安による仕入価格高騰の影響を受けたものの、価格転嫁を進めてまいりました。またハイキング・トレッキング市場で登山靴の主力モデル『C1_02S』の販売が好調に推移し、増収増益となりました。

この結果、売上高は59億4千9百万円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益は23億2千7百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。

<その他>

運送部門は、自動車及び住宅関連の荷動きの低迷、原油価格の継続的な高騰による燃料費の高止まりにより、減収減益となりました。

この結果、売上高は1億7千3百万円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益は1千7百万円(前年同四半期比45.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べ22億2千3百万円増加の425億9千7百万円となりました。現金及び預金や棚卸資産が増加したことなどにより流動資産が20億1千8百万円増加し、投資有価証券が増加したことなどにより固定資産が2億5百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べ3億3千4百万円減少の66億9千7百万円となりました。買掛金の減少などにより流動負債が3億9千2百万円減少し、繰延税金負債の増加などにより固定負債が5千8百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ25億5千8百万円増加の359億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことや為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の82.6%から84.3%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,228,636	8,873,842
受取手形及び売掛金	10,866,033	10,480,870
商品及び製品	3,528,920	4,079,588
仕掛品	3,020,149	3,178,875
原材料及び貯蔵品	1,095,114	1,135,641
その他	532,783	533,722
貸倒引当金	△87,518	△80,007
流動資産合計	26,184,118	28,202,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,571,252	4,510,264
機械装置及び運搬具（純額）	2,953,027	2,888,953
土地	3,055,961	3,061,034
建設仮勘定	140,299	189,397
その他（純額）	895,881	887,036
有形固定資産合計	11,616,422	11,536,687
無形固定資産		
ソフトウェア	84,798	89,003
その他	25,058	40,200
無形固定資産合計	109,857	129,204
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	302,151	316,980
その他	3,643,336	3,960,881
貸倒引当金	△1,481,734	△1,548,701
投資その他の資産合計	2,463,753	2,729,160
固定資産合計	14,190,033	14,395,051
資産合計	40,374,152	42,597,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,648,771	2,134,107
短期借入金	82,964	43,437
未払法人税等	148,649	434,414
賞与引当金	567,300	565,654
事業撤退損失引当金	107,000	107,000
その他	1,644,817	1,521,892
流動負債合計	5,199,503	4,806,506
固定負債		
長期借入金	3,810	2,270
繰延税金負債	371,620	393,233
環境対策引当金	12,233	9,734
退職給付に係る負債	771,185	772,649
資産除去債務	191,438	209,637
その他	482,326	503,115
固定負債合計	1,832,613	1,890,640
負債合計	7,032,117	6,697,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,297,314	3,297,314
利益剰余金	24,508,444	26,289,683
自己株式	△255,321	△255,362
株主資本合計	31,354,736	33,135,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362,469	540,056
為替換算調整勘定	1,548,040	2,144,448
退職給付に係る調整累計額	74,064	79,996
その他の包括利益累計額合計	1,984,575	2,764,501
新株予約権	2,724	—
純資産合計	33,342,035	35,900,436
負債純資産合計	40,374,152	42,597,583

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,284,905	19,365,033
売上原価	14,736,564	13,410,566
売上総利益	5,548,341	5,954,466
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	324,617	321,716
給料及び手当	1,087,424	1,128,488
賞与引当金繰入額	136,451	135,050
退職給付費用	36,857	36,605
減価償却費	95,243	72,082
研究開発費	217,239	230,915
その他	1,478,668	1,809,044
販売費及び一般管理費合計	3,376,501	3,733,903
営業利益	2,171,839	2,220,562
営業外収益		
受取利息	15,450	27,983
受取配当金	40,848	38,155
為替差益	524,917	132,941
受取賃貸料	35,878	28,333
補助金収入	8,941	250
その他	40,351	42,971
営業外収益合計	666,387	270,636
営業外費用		
支払利息	7,963	1,021
賃貸収入原価	22,422	21,831
その他	8,393	11,866
営業外費用合計	38,779	34,719
経常利益	2,799,446	2,456,479
特別利益		
固定資産売却益	148,020	—
補助金収入	—	538,513
特別利益合計	148,020	538,513
税金等調整前四半期純利益	2,947,466	2,994,993
法人税、住民税及び事業税	888,554	786,654
法人税等調整額	△42,431	△35,949
法人税等合計	846,122	750,705
四半期純利益	2,101,344	2,244,287
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,101,344	2,244,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,523	177,586
為替換算調整勘定	1,210,322	596,407
退職給付に係る調整額	5,427	5,931
その他の包括利益合計	1,170,226	779,926
四半期包括利益	3,271,571	3,024,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,271,571	3,024,214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りに用いた新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢の影響に係る仮定について、前事業年度の有価証券報告書に記載した仮定からの重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	11,569,935	2,309,307	6,220,424	185,237	20,284,905	—	20,284,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	56,900	56,900	△56,900	—
計	11,569,935	2,309,307	6,220,424	242,138	20,341,806	△56,900	20,284,905
セグメント利益	40,826	44,624	2,340,676	30,985	2,457,114	△285,274	2,171,839

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去276千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△285,550千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,753,402	2,488,563	5,949,573	173,493	19,365,033	—	19,365,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	52,182	52,182	△52,182	—
計	10,753,402	2,488,563	5,949,573	225,676	19,417,215	△52,182	19,365,033
セグメント利益	115,659	67,297	2,327,333	17,003	2,527,294	△306,731	2,220,562

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去276千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△307,007千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上